

会員番号について

新しい会員名簿に、会員番号が付記されています。学会での事務処理を迅速に進めるために、会費納入、お問い合わせ等、天文学会への連絡の際には会員番号を付記して下さいますようお願いいたします。

会員名簿（関係機関）の訂正について

日本天文学会会員名簿（1992年11月30日現在）の誤印刷に関しては4月号に正誤表を挿入しましたが、名簿発行後関係機関の訂正依頼がありましたので、公的関係機関〔名簿(2)～(6)〕に限り6月号に再掲載することにしました。

お気づきの機関がありましたら4月30日までご連絡下さい。その際は「はがき・変更カード・FAX等」記録の残る形でご一報下さい。

連絡先：〒181 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内

社団法人 日本天文学会

FAX：0422-31-1359（電話兼用）

星空市場

“意見”

私は今年度入会させて頂いた者です。毎月の月報拝読しています。

93年1月号の「はるかな時空をかける処女たち」を興味深く拝見しました。さて、その表題中の「処女」ということばに、ひっかかりを感じます。この論文を女性研究者が発表するとしたら、この語を用いるでしょうか。「人」を表現することばを吟味して使わなければならない今の世の中で、このことばを何にでももののたとえ、初めての代名詞として用うのは、いかがなものでしょう

か。他のことば、例えば初周回彗星とか、原初彗星とか（これは全く私案ですが）、科学論文にふさわしい表現を用いてほしいと思います。彗星を女性と表現し「われわれ天文学者」が片思いするという。天文学者に女性もおられることですし、今少し配慮があってもよいと思ひまして一筆したためました。

他の読者の方は、いかががお考えになりますか。

加藤公子（神奈川県）